

	指摘箇所	意見内容	修正案	修正前
まちづくり目標1	主な現状と課題	不登校がコロナ禍以降急激に増えてきている。居場所づくりや生きる力を育む。などを追加してほしい。	主な現状と課題に「コロナ禍以降、急激に不登校の児童生徒数が増えてきています。」を追加しました。まちづくりの方向性に「不登校児童生徒の居場所づくりや生きる力を育む取組みを進めます。」を追加しました。	新規
	まちづくりの方向性	子どもができてから大変さが分かったという意見があった。親になってからの学びが大切。ここに学ぶという視点もいれてほしい。	まちづくりの方向性の第3項目「公的な関係機関や、地域の子育て支援団体、社会福祉法人、NPO法人などの民間団体と連携した子育て支援」の後に「親の学びの支援を行います」を加えました。	公的な関係機関や、地域の子育て支援団体、社会福祉法人、NPO法人などの民間団体と連携した子育て支援を行います。
まちづくり目標2	キーワード	キーワードとして、個人の幸福度向上について、ひっかかる。自分だけ良ければよいと感じる。	キーワードの「個人の幸福度向上」を「一人ひとりの幸せ実現」に変更しました。	個人の幸福度向上
	キーワード	デジタル田園都市でウェルビーイングという言葉がでてきた。一人ひとり幸福は様々。向上よりも充足しているかが重要。		
	キーワード	一人ひとりが幸せを感じるという表現の方が良い。		
まちづくり目標5	キーワード	まちづくり目標5のキーワードに、「防犯」とかあってもよいのでは。根幹にあるという位置づけがほしい。	キーワードに「暮らしの安全(防犯)」を追加しました。	新規
推進方策	キーワード	市民サービスの維持・向上と合理化の両立とあるが、二項対立ではないのでは。トレードオフの概念を表現していると思うが、第3の道が見えにくくなる。議論の余地が狭まる。この言葉はこれでもよいが、どうするかというときに、検討いただければ。	DXの推進等で合理化を進め、人件費等の経費を少なくしていきながら、市民サービスを下げることなくという意味合いで記載のため、修正はしませんでした。	
推進方策	キーワード	選択と集中という言葉を使ったらよいのでは。	キーワードに「選択と集中」を追加しました。	新規
推進方策	主な現状と課題	財政抑制に関する内容が多くなっている。ふるさと納税など、歳入確保の必要性について増やしたほうよいのでは。	主な現状と課題において、一つの文章であった財政抑制と歳入確保を二つにわきました。なお、歳入確保では「少子高齢化に伴い、働き手の減少や税収の減少が予想される中、持続可能な行財政運営を行うためには、安定した税収の確保に加え、税外収入を含めた多様な歳入の確保に取り組むことが必要となっています。」、「ふるさと納税による寄付額は毎年5～7億円前後で推移しており、様々なまちづくりに活用しています。」を追加しました。	高齢化により行政需要が高まるとともに、生産年齢人口の縮小により、働き手、税収の減少が予想される中、安定した税収確保の取組みやDX推進による合理化、公共施設の長寿命化、職員の能力向上などによる財政抑制の取組みが必要となっています。